

WEEKLY

ツーリズムビジネス専門誌
週刊トラベルジャーナル

2014年5月5日発行(毎週月曜日発行)
第51巻第19号通巻2901号
1964年9月17日第三種郵便物認可

50th
ANNIVERSARY

TRAVEL JOURNAL

Japan's No.1 Travel & Tourism Business Magazine

観光立国を支えるすべての人々に向けて

2014
5/5・12

特別号

喜ばれる ナイトライフ

訪日客に向けた一工夫の提案

誌上探録

男女の区別なく活躍できる
組織を目指して

佐野嘉秀氏
(法政大学経営学部教授)

誌上セミナー

今日からできる120%予算達成術
私のお客さまづくり

ニュース解説

標準旅行業約款が一部改正
畑敬(弁護士)

好評連載

視座

中村好明
(ドン・キホーテグループ
インバウンドプロジェクト責任者)

発見!海外旅行半世紀
あの手この手のマネープラン

SCRAP

中国人市場が変化した理由
高齢者大国の前線から
身動き取れない地方での足

トレンド観測

ビジョン共有型の農業体験ビジネス

ナベケン流インバウンドの教科書
システム思考×デザイン思考

ビジネスパーソンの日々雑感
鎌田智子(サクラホテル浅草支配人)

DATA

旅行業主要57社 2月の取扱状況

高齢者大国の 前線から

vol.
014



文・篠塚恭一 (SPIあ・える倶楽部代表取締役)

身動き取れない 地方での足

北 スペインの田舎町を2週間ほどバスで巡っていたことがある。乾いた赤土にオリーブ畑が広がる南部アンダルシア地方への道とは違い、マドリードを抜けカステージャ・レオン州に入ると緑豊かな大地が広がる。さらに北へ進むと急峻な山地に近づき、ピコス・デ・エウローパというアルプスのような地域に入る。かつてヨーロッパの屋根と名づけられたとおり、峰々は夏でも雪を頂き、沿道にはエーデルワイスなどの高山植物が美しく、広大な山々は深い森に覆われている。

中世に入るまでアフリカからやってきたイスラム教徒に国の多くを支配されていたスペインは、敬虔なカトリック信者がこの地の利を活かし山間に潜んで巻き返しを図った。いわゆるレコンキスタ(国土回復運動)がこの辺境の地から始まった。

すれ違う車もほとんどない細い山道を走っていると、前方に黒い人影が見えてきた。ドライバーのペペは徐々にスピードを緩め、その横で車を止めた。私は助手席にいたので、それが杖をついた老婆であることがすぐわかった。買い物かごのようで、小さな荷物を抱えている。扉を開け、ひと言ふた言、ペペが声をかけると、老婆は静かにステップに上がり床に腰を下ろした。「ふうっ」と老婆のため息が聞こえたので、心配になって振り返ると客たちは静かに微笑んでくれた。

しばらくバスを走らせたところで老婆を降ろし、ペペは何事もなかったように車を進めた。老婆も特

段の礼を言う様子もなく、小さく手を振り見送ってくれた。スペインの田舎では、こうして道行く年寄りをバスに乗せ助けることが時々あった。

もし、この状況を業務試験で問われたら、乗せないというのが正答だろう。貸切バスのドライバーにそうした権限はなく、たとえ参加者の知り合いでも観光バスに乗せることは断るのがルールだ。しかし、私たちのバスではペペの判断と行動をすぐ理解し、とがめることはなかった。その方が皆、気持ちよかったからだ。そして、スペイン人は年寄りに優しいと小さな旅の思い出にして持ち帰った。

昨年、私たちの生活交通にかかわる「交通政策基本法」が国会で可決された。少子高齢化が進む過疎地の公共交通や環境への配慮、さらに観光立国の対応など、広範にわたる内容になっている。地方は車社会で都市とは交通事情が根本的に違うが、市町村は財政難から、地域交通を担ってきたバス会社など、交通事業者への補助を制限せざるをえない。利用客の減少に加えて、補助金が減らされれば、採算に合わない路線はさらに縮小せざるを得ないというのが事業者の立場だ。

私のように時々田舎に帰る者は観光客と同じで、列車の乗り継ぎが悪かろうとバスが不便だろうと不満の声を聞き入れてくれる先はない。しかし、観光客が不便な地域は、高齢で運転免許証を返上した年寄りにとっても身動きの取れない地域と思う。助けあい精神の残る地域の住民同士はまだいいが、出張で地方へ行くと、鉄道駅や高速バスターミナルから先の足が無くて困ることが多い。

今、パーソナルモビリティのあり方を自動車メーカーや国土交通省が研究しているが、レンタサイクルもセグウェイも高齢者には使いづらく、次の技術を待っている。基本法の目的は国民生活の安定向上および国民経済の健全な発展を図るとあるが、私たちがどのような地域を回復させ、何を当たり前のものとして未来の子供たちに残すのか、しっかり見守っていこうと思う。



しのづか・きょういち ●91年にSPIを設立し、現職就任。95年トラベルヘルパー(外出支援専門員)の養成開始、介護旅行事業に取り組む。06年NPO法人日本トラベルヘルパー協会を設立し理事長に就く。